

平成25年11月29日
水産庁

水産物の市況について（平成25年11月及び12月）

—東京都中央卸売市場における平成25年11月（平成25年10月21日～11月20日集計）の市況と、
平成25年12月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成25年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べやや増加となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや強含みに推移しました。

II 平成25年12月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、卸売価格は品質が良いためやや強含みに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は三陸中南部沿岸、犬吠埼沿岸、駿河湾～伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（主漁場は九州西方海域主体に山陰沿岸、犬吠埼～房総沿岸）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は需要期を迎えることから前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さんま（生鮮品）」

入荷量は前月と比べ減少すると見込まれるものの、サイズが小さいこともあり卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円/kg）

	11 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
25年	48	892	45	858	45	888
前年	51	799	49	783	48	780

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

（単位：円/kg、%）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	11 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	956	159	126	197
さけ・ます（平均）	765	96	161	122
（ぎんざけ塩蔵品）	735	100	143	113
（あきさけ塩蔵品）	630	100	112	122
（ときさけ塩蔵品）	900	100	115	108
（べにざけ塩蔵品）	1,050	100	120	108
（さけ類冷凍品）	751	95	186	131
さば（生鮮品）	449	87	93	99
するめいか（平均）	450	90	112	121
（生鮮品）	469	87	112	125
（冷凍品）	407	100	113	114
あじ（生鮮品）	491	83	83	100
まぐろ（冷凍品）	1,203	95	97	86
（めばち冷凍品）	911	103	103	89
（きはだ冷凍品）	823	105	92	83
（くろまぐろ冷凍品）	3,037	73	82	88
（みなみまぐろ冷凍品）	1,645	123	69	79
さんま（生鮮品）	405	105	125	142

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2：11月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成20年～24年の加重平均値。

注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 岡野、庄田、安井
 直通 03-3591-5612